

第6期四谷地区協議会会議録

分科会名	役員会	開催回	平成27年度 第2回		
開催日	平成27年6月23日(火)四谷特別出張所会議室 14時00分～15時30分				
出席者	委員	役員6名	職員	4名	傍聴人 1名
議題	1.各分科会報告・連絡				
	2.「自転車の安全走行に関する提案～道路のあり方について」について				
	3.その他				

1 各分科会報告・連絡

	主な内容
第1分科会	<p>(1) 地域を識る勉強会は10月3日(土)開催予定。須賀神社について学芸員、緒方前宮司に講演していただく。</p> <p>(2) 国立競技場周辺の現状と町会での取り組みについて説明があった。町会とスポーツ振興センターとで話し合いが20日(土)に行われた。</p> <p>(3) 第5期作成の提案書について、意見交換を行った。</p>
四谷お宝さがし 実行委員会・	発表会は3月5日(土)、お宝募集は10月末まで。現在チラシを作成中。委員会企画については様々な意見が出ており、次回会議で引き続き検討する。
観光まちづくり 実行委員会	7月18日(土)に文学座、民音博物館、絵画館を巡るまち歩きを実施する。9月には文化施設をめぐるまち歩き第2弾を行う。最後に訪れる絵画館(有料)は希望者のみ入場し、そのまま自由解散とする。
第2分科会	6月の会議は休会で、次回は7月に開催する。新規事業についても検討中。
第3分科会	<p>(1) 四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校で花いっぱい運動を実施した。花園小学校の参加者が増えている。年間実費千円を負担してもらい、春と秋に実施している。</p> <p>(2) 四谷ひろばフェスで高遠とあけぼの作業所が育成した内藤とうがらしの頒布があった。内藤とうがらしは、今年も5月に2回、6月に1回(合計3回)の頒布が行われた。</p> <p>(3) 5月29日(金)にごみゼロ運動を実施した。四谷中学1年生105名、地域の方を含め300名近くが参加。天候もますますであった。</p> <p>(4) 落書き消しの啓発ビデオを作製した。動画はHPで視聴可能。</p>
地域の窓口	町会で資料を配布し、情報提供への協力を呼びかけた。町会ごとの行事を担当者と打ち合わせて掲載する。
広報	<p>(1) 各分科会に広報の担当窓口を1名たててほしい。</p> <p>(2) 次回広報誌に掲載したいことを各分科会から連絡してほしい。</p> <p>(3) 広報委員が現場に行って写真を撮り、インタビューをする。</p>

2 「自転車の安全走行に関する提案～道路のあり方について」について

提案書の内容についてどのような点が問題なのか具体的に示してほしい、と高野リーダーより質問があ

り、役員が討議した。

【第1分科会の主な意見】

- 役員会には提案書の提出を拒否する権限がない。
- 修正点はひとつもない。
- 提案書を提出できない状態が続いているので、「改善」部分のみ修正してはどうか。
- 役員会の案は抽象的であり、出せないようにしているだけである。
- 会長名で出せないのなら第1分科会の名前で提出してはどうか。
- 具体的にどこをどの様に直せば提出できるのか。
- 第1分科会では、提出したいという意思が強い。(第1分科会の総意である)

【役員の見解】

- 「現状」と「課題」は問題がない。
- 構造的な部分にまで踏み込むより、現状の道路事情を踏まえたうえで最初に自転車に乗る人のマナー、ルールを討議すべきではないか。現段階では地区協議会でマナー、ルールについて啓蒙しているとは言い切れない。
- 構造的な部分まで踏み込んだ提案書を区や警察宛に提出するという事は、地区協議会の検討事項としてはなじめない。

- PTA、学校、町会の代表がいる第2、第3分科会でも討議していったらいいのではないか。
- 改善策はひとつではない。これひとつをとって「改善案」とすると、他の改善案がある場合に否定されてしまう。
- いろいろな改善案を出して、道路の根本的な内容を改善しなければいけないかどうかをじっくり役員会で討議してから区や警察に提出していく。

- 副題は「道路のあり方」となっているが、道路は自転車、人の為だけではなく、車の為のものでもある。住民の意見、運転手の意見など、様々な人の意見を聞かなければならない。
- この提案書では、歩行者からの意見だけになっており、車に乗る人の意見は反映されていない。

- 提言する、意見を言うのは良いが、この内容が地区協議会の名前で地区協議会を代表する意見とされるのは良くない。
- 結論ありき、と言う提言が出ると、地区協議会の信用がなくなる。
- 地区協議会と言う立場を踏まえたうえで「第1分科会の研究チームが調べてこのような意見をまとめた」という形で提出してはどうか。
- 広く状況を調査せず、個人的な思いが強く反映された意見が地区協議会の意見として出るのはいかかなものか。

- 表題の付け方も変えた方がいいのではないか。
- 自転車の安全に関してはハード面だけでなくソフト面(マナー)も加味した方が報告書としては良い。

- 警察、交通安全協会とともに汗を流して行動し地域に啓蒙してはどうか。
- 道路課、警察(所管)はどう考えているか確認した方が良い。

・区の見解を聞くとより精度が高まる。最初は意見をまとめるだけでいいが、担当部署とやりとりして文章をまとめる方が良いのではないか。

・以前歩行喫煙、放置自転車について討議した際に、区の今後の計画を確認した。そして我々の出来ることは何かを考えた。

・駐輪の件では区の指針が自転車の「抑制」から「利用」へと変わり、「自転車を使わせる以上駐輪場を整備してほしい」という方向になったこともある。行政の方針を事前に確認したうえで討議、提案した方が良い。

・警察、消防、区役所とのネットワークが出来るのが地区協議会の利点である。

・今回の件について行政がどのような見解を持っているかを探ってから提案書を仕上げてもどうか。

・区の指針に沿って行くのも方法のひとつ、それはいかがなものか、というも方法のひとつである。

・区が向かっている方向を理解すると、それに叶っているのか、否定していくのかが分かる。

・議論するときには計画を知っておいた方が良い。

【役員の見解を受けての第1分科会リーダーの見解】

・改善案を削除するか、言い回しを修正するのかが等、やりとりを何度か行うより、具体的にこうすべき、と指摘してほしい。

・「改善案」までは地区協の範疇ではないと言われたが、「こうすべき」という言葉が問題なのか。「改善したらどうでしょうか」としたら良いのか。

・地域の課題を出し改善するため提案をしていくのが地区協議会であり、第1分科会ではその点を重視し活動している。

・なじめないとして終わりにするのではなく、どの様な形にすればいいのか。

・前回の役員会で、表題は「道路のあり方について」との見解もあった。具体的にどの様な表題が良いのか。

・今回の提案に当たり、自転車がルールを守っていない、まず歩行者を守ろうと言うのが着眼点である。また、提案書には運転者の立場で考えた意見も反映されている。

・一方的な意見ではなく、いろいろな人の意見を参考に出来るといい。まず所管の意見を聞いて反応を見るのも良いと思う。

・改善案を書くか書かないは別として、区や警察の担当者呼んで意見を聞いてはどうか、という意見も委員から出た。その時に口頭で改善案を提示し、どういう対応をするかを見るのもいいのではないか。

・第2、第3分科会と意見交換をして「改善案」が出されれば「総意」として提案書を仕上げ、「改善案」を削除しなくても良いのではないか。ただし他の分科会で第1分科会と同じ「改善案」が出ない場合は「総意」というのは難しい。

・社会的調査を行うと、費用も時間もかかる。

・第1分科会で、どの名前で提出すべきかについても検討したい。

・第1分科会ではより良い形で討議し、リーダーとしては「出した」ということをねぎらいたい。

- ・強硬に出しても意味がない。

【役員会の結論】

- ・各リーダーからの意見を踏まえてまた第1分科会で検討してほしい。
- ・現段階ではこのまま地区協議会と言う名前では出さない。

3 その他

8月は役員会を休会とする。

次回日程	7月22日（水）14：00～	四谷特別出張所会議室
------	----------------	------------